

1 DAY

1日のスケジュール

国民目線で行政運営を考える1日

行政評価局評価監視官
(連携調査、環境等担当)室

早坂 正朗
Hayasaka Masaaki

MESSAGE

行政評価局の最初の印象は、その道のプロである担当府省に対し、改善点を指摘するもので、聞き入れてくれない場合もあるのではないかと不安でしたが、「評価局の一員として調査に参加してみると、「調査をしてくれて良かった」などの感謝の言葉を頂くこともありました。担当府省では気づきにくい現場の実態や課題を明らかにし、改善方を提言できるやりがいのある仕事かと思えます。自分を信じて頑張ってください！

10:00



調査結果の取りまとめ

行政機関の業務の実施状況について、全国の管区局・事務所と協力して調査した結果を当室で取りまとめています。調査結果を整理する際には、国民目線を踏まえた分析を意識し、関係行政機関の取組への貢献を心がけています。

14:00



上司への御相談

取りまとめの過程で問題意識を持った点について、上司に御相談しながら今後の方向性を検討しています。一人の国民としてどう思うかという視点が重要であるため、若手職員が活躍できるのも特徴の一つです。

16:00



班内のWeb打合せ

一つの調査テーマに対して、数人の班を組んで調査を実施するため、適宜班内で進捗管理などの打合せを行います。今後のスケジュールを班内で共有しておくことで、効率的な業務進行に努めています。

18:00



打合せ終了後

打合せの結果、今後必要となってくる作業を整理して業務分担を行います。私も調査項目の一つを後輩職員と担当しているため、助け合いながら資料作成などを実施しています。

3週間前



会議開催の決定

国際会議の開催決定後、まずは出席者を調整するとともに、必要人数分のホテルやフライトを確保します。同時期に多くの人が一カ所に集まるので、予約が一杯になってしまうことも。迅速な対応が求められます。

2週間前



発言応答要領の作成

会議内容が具体化するにつれて、その会議で何を発言し、相手国の発言に対しどう応答するかを検討の上、発言応答要領の形でまとめます。発言がそのまま日本の立場を示すことになるので、そのニュアンスに至るまで綿密な調整が必要です。

1週間前



資料のセット

発言応答要領の他、会議の議題、言及される案件の概要資料、現地のロジ情報などをまとめて、出席者が現地に持ち寄る資料をセットします。多い時では数十ページに及ぶこともあります。状況が変化する度に内容を差し替えます。

本番



現地での調整

いよいよ国際会議へ出発です。現地では予め調整された議題に沿って会議が進行されますが、想定外の事態もあり得ます。発言を変更する必要がある場合は、その場でメモ書きを発言者に手渡すなど、会議途中も奔走し最後までベストを尽くします。

1 YEAR

1年のスケジュール

地方税制度について考える1年

自治税務局都道府県税課

吉川 あかり
Yoshikawa Akari

MESSAGE

様々な地域で共通する行政課題に対して、自治体の安定的な行政・財政・税制基盤を築くことに携わりたいと考え、制度官庁である総務省に興味を持ちました。入省して感じることは、自治体との人事交流が盛んなために、多様な地域の方々とながらりを持つという世界の広さです。また、地域への様々な想いを持つ優秀な先輩方に囲まれて、日々勉強できる環境だと思えます。ぜひ、皆様と共に一緒に働ける日を楽しみにしています。



4月~6月

政令・省令の改正作業

私が配属となった係は地方法人課税を扱っています。法律や税の専門用語が飛び交う中で、周りの職員に助けをいただきながら、昨年度の法人関係の大幅な法律改正に伴う政令・省令改正作業に携わりました。

7月~9月

税制改正に向けた準備

地方税法は、社会変化に合わせて毎年改正されます。改正にあたり必要な情報を関係各所からのヒアリングや、各種資料等で確認します。担当税目について係内で検討を行い、年度末の税制改正に向けて準備を進めます。

10月~12月

報告書の作成

税負担を軽減させる措置等の適用状況について報告書を作成します。各種法令や税制改正の資料を読みながら、制度についての理解を深めつつ、ミスの無いように確認を重ねて、国会報告に向けて作業を行いました。

1月~3月

地方赴任に向けた転出前研修

自治部局の施策や、地方公務員としての心構えについて研修を受けました。制度を所管する国の立場だけでなく、地方自治の現場を経験することで、多面的に物事を見る力を養えるように意識して地方赴任に臨みます。